

ひとり暮らしビギナーのあなたも、ベテランのあなたも必読!

8・6  
1999 No.1  
350yen

# an・an

毎週1回金曜日発行 1999年8月6日発行 第30巻第30号 昭和45年3月23日第3種郵便物認可

ペットがいるから幸せー!  
私のひとり暮らし。

セルフ・フォトで初公開!  
おしゃれスターの  
ひとり暮らしの部屋。

ひとり暮らしは、恋愛に有利?  
不利?  
メリット  
デメリット

BED、BATH&BREAKFASTが基本。  
まず、居心地のいい3B空間づくりから始めよう!

## ひとり暮らしは 淋しくない!

「ひとり暮らしの長い女は、  
結婚出来ない」説を徹底検証。

「ひとり暮らしの食生活」  
GOOD-BYE! 淋しい「ひとり飯」

ちよつぷり贅沢、  
そんな生活雑貨が「ひとり暮らし」に……。





Here you are!



delivery every friday!  
**an-an Express**

objet, photograph, painting, design, print, architecture, sculpture, interior

旅や食の話ととも、北欧デザインへの思いを綴ったエッセイ「アールトの椅子とジャムティー」を先頃出版した料理研究家の堀井和子さんに、北欧家具の魅力について語ってもらった。「私が自宅で愛用しているのは、ハンス・J・ウエグナーの「Yチェア」。12年ほど前、家にある白木のダイニングテーブルに合う椅子を探していて目に留まったのがその椅子でした。以来、5年おきに2脚ずつ買い足して、現在では6脚に。彼の家具は他に、ミッドセンチュリーデザイン

の3本脚のテーブルと座面の低い大きめの肘掛け椅子をリビングに置いています」  
ハンス・J・ウエグナーは「椅子の巨匠」と称されるデンマークの家具デザイナー。なかでも「Yチェア」(1950年)は日本でも最も人気のある名作。「ペーパーコードの座面は適度に弾力がある、長時間座っても疲れない。賃貸のマンションに住んでいるので、やがて引っ越すことを考えると家具はシンプルのほうがいい。その点この椅子は、どんな家に置いてみてもなり部屋の中心になってくれる」

堀井さんの家には、他にも調理器やテーブルクロスなど、さまざまな北欧デザインがある。「リビングに置いてあるイージーチェア。座面はペーパーコードを使用」

バランスの良さに惹かれ、2〜3年前にアンティークで購入したという3本脚のコーヒーテーブル。



「Yチェア」。オーク材、ブナ材などがある。堀井さんの愛用はオーク材のナチュラル仕上げ。



リビングに置いてあるイージーチェア。座面はペーパーコードを使用

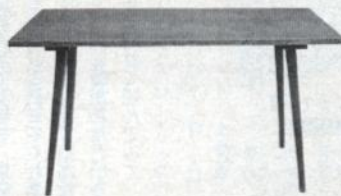
Kazuko Horii



上智大学仏語学科卒業後、料理スタイリストの仕事に就く。84年から夫の仕事の関係で渡米。帰国後、料理研究家に。近著は食と住まいと旅のエッセイ「アールトの椅子とジャムティー」(KKベストセラーズ)。

写真・西村博之

好きなものを集めた結果、行き着いたのが北欧のデザイン。今ではハンス・J・ウエグナーの椅子がインテリアの主役に。  
堀井和子さん 料理研究家



堀井さんが子供の頃、大工の叔父さんが作ってくれた長方形の木のテーブルは同じものがもう一つあり、用途に応じてレイアウトが変更される。シンプルなおデザインは北欧の椅子にも合う

RELAY ESSAY Kyoichi Tsuzuki Harumi Tsuda

THIS WEEK!

都築響一の

金曜美術館

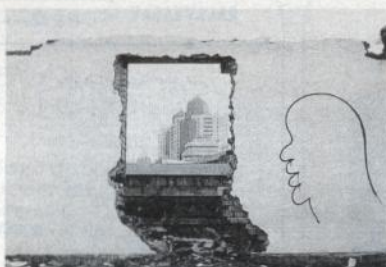


つづき・きょういち / エディター  
自らが撮影を手がけた、「ROADSIDE JAPAN 珍日本紀行」(アスペクト)で、第23回木村伊兵衛賞を受賞するなど、多方面で活躍中。

なにを見つめるのか、ひと筆書きの顔の列

中国の北京と上海、いま世界でもっとも速いスピードで姿を変えつつある都市です。昔ながらの住宅や小建築が突然取り壊され、無表情な高層商業建築が、これまたあつというまに出現します。そんな破壊と創造のまったなかにある北京の、壊されかけたビルの壁に、不思議なグラフィティが出現したのは2年ほど前のことでした。スプレー・ペイントで一気に描かれた、スキンヘッドの男の横顔。笑っているでもなく、涙を流しているでもなく、しかしなにかを愁うようにシリアスな表情で、破壊されていく都市を見つめている顔たち。中国の新しい世代のアーティストである、張大

ご存じのとおり中国には壁新聞という、都市の壁をメディアとして活用した政治的なメッセージがありますが、張の描く顔に政治色は、まったく見られません。彼は政治活動家ではなくアーティストであり、彼の顔たちは政治的でなく、もっと違ったレベルでのメッセージなのです。「ダイアログ」(対話)と名づけられた物言わぬ顔たちになにを読み取るか、それは人それぞれでしょう。あまりにも急激な変化に戸惑う北京の庶民たちの感性の集合体なのか、それとも「中国史上初」のアーティスト的なグラフィティ作品なのか。物言わぬ顔だからこそ、彼らはいっそう謎めいて見えてきます。



"DIALOGUE BEIJING" 1997 on a wall ©Courtesy: Zhang Dali

EXHIBITION CHECK

学内に3つの美術館を持つ大学からセレクト。モダンアートの100年 ハーバード大学コレクション展 7/31~9/26



パブロ・ピカソ「母と子」1901年 油彩/キャンバス ©Succession Picasso, Paris & BCF, Tokyo, 1999 ©by the President and Fellows of Harvard College

多くの手法で描き出された「特異な場」を体験したい。

MOTORWAY / 伊藤桂司展 7/31~8/9

イラストやデザインなど幅広い分野で活躍する伊藤桂司さんの個展。タイトル通り「高速道路」をモチーフに、独特のタッチで描かれたドロ잉やコラージュは、不思議なスピード感に満ちている。●ギャラリー 360 (東京都港区南青山5-1-27) 11:00~19:00 日曜休 無料 ☎03-3406-5823



A4サイズのダブルジャケットケースにモノクロとカラーの作品集各1冊、ポスターなどが入った同名の作品集が青山社から発売中。 ©KEIJI ITO